

5) 精神発達遅滞の診察法

落合靖男 沖縄整肢療護園中部分院

- 1) 知的発達遅れの乳幼児も最初は運動の遅れとして現われることが多いので粗大運動(頸定、ねがえり、這い這い、ひとり歩き)mile-stoneの発達段階を調べる。但し妊娠月数、出生時体重を補正して判定する。
- 2) 知恵遅の一部は筋トーン低下を呈することがあるので heel to ear 足関節の背屈程度を測定する。
- 3) 変質徴候の記載
- 4) 家族性の有無
- 5) 追視のスピード具合を調べる
- 6) 追視と音への反応の組合せで子供の程度をみる
- 7) 生后2カ月頃笑うことがあったかどうか
- 8) 焦点の程度
- 9) 生后10カ月頃 バイバイできるかどうか
- 10) 顔つき
- 11) 頭囲で1才以下で1 cm 以上の差がある者
- 12) 10 カ月目に人見知り可能かどうか
- 13) 低身長3 p 以下を要注意とする

沖縄市の乳健では

0～6カ月に

- 1) 相手を見て笑いかけたり声を出す
- 2) ガラガラなど持たせるとしっかりもつ
- 3) 両手を正中線で合わせる
- 4) うつぶせで肘で支える

7カ月～1才

- 1) 人見知りをする
- 2) いないいないバーを喜ぶ
- 3) 小さいものをわしづかみにする
- 4) 自分の方から 語を出す